



後継者の強みを活かした文具店が スムーズな事業承継と事業拡大を実現

課題

既存商品の売上げ低下と 借入過多で資金繰りに不安

大井川事務機は、1986年に創業。静岡県焼津市で34年間、「まちの文房具店」として親しまれてきた。

しかし近年は、既存商品の文房具の売上げ高が減少。5年前に、ホームページ制作事業に詳しい長男を後継者として他社から呼び戻し、業務拡大を図りたいと考えていた。

しかし、既存商品の文房具の売上げが年々減少しているのに加え、先代からの借入金負担が大きく、事業承継に関する資金繰り調達が困難だった。

そこで後継者は、これらの課題を解決してスムーズな事業承継と収益性の改善を図るため、大井川商工会に相談した。

支援

補助金と経営見直しで 資金を確保して事業拡大

商工会では、後継者のホームページ制作スキルに着目。新たな事業として、「地元の小規模事業者に特化したホームページ再活用と最新ソフト導入サービス」を提案し、支援を行った。これは、「地元の小規模事業者に特化したホームページ再活用と最新ソフト導入サービス」をテーマとして、地元事業者に向けてホームページの再構築による活用や関連ソフトを最新のものに入れ替える提案を行う新規事業だ。この内容により、同社は経営革新計画の承認を得ることができた。

次に商工会は、事業承継を計画。先代の廃業と、承継者の開業の手続きを支援した。

さらに、後継者のパソコンスキルを活かし、静岡県焼津市大井川地域の小規模事業者に向け、ホームページの再構築による活用や関連ソフトの更新を提案する新事業のスタート支援も行った。

地域密着ならでの充実したサポートを含めたサービス展開は、地元の小規模事業者からも大好評。「小規模事業者に特化したホームページ再活用支援サービスの提供」をテーマとした事業承継補助金の採択により、店舗内に作業の行える事務室を開設するなど、新規事業に必要な設備を導入することができた。

資金繰りの不安については、キャッシュフローの見直しを図り、金融機関との交渉を経て資金繰りの見直しを支援した。これらの支援により、同社はスムーズな事業承継と、事業拡



事業承継補助金を活用して店内に事務室を開設

大を実現。現在は、既存の文具事務用品販売事業に加え、印刷デザイン事業、パソコン・周辺機器事業、Web制作事業の4事業を展開するまでに広がった。

現在は、静岡県の小規模企業経営力向上事業費補助金も申請中であり、早期に経営革新計画の承認を得たいと考えている。

支援の経過

期間	支援内容
2017年10月	小規模企業経営力向上事業費補助金の申請支援
11月～12月	経営革新計画の策定支援
2018年7月～ 2019年1月	事業承継補助金の申請・報告支援、 事業承継手続きと資金繰りの相談・支援

会社概要

会社名：大井川事務機
 住所：静岡県焼津市相川1536
 電話番号：054-622-4661
 URL：http://ojmk.net/
 代表者名：滝井愛龍
 創業年：1986年
 従業員数：3名
 商工会名・担当者名：大井川商工会・大石祐輝